

米沢工業会埼玉支部

ニュースレター第9回

- ★支部長挨拶
- ★米沢工業会創設 100 周年記念講演会・式典
・祝賀会参加報告
- ★七夕会開催報告
- ★支部総会開催報告
- ★芋煮会開催報告
- ★秋季ゴルフ大会開催報告
- ★会員の寄稿文
- ★故塚越則夫氏（前支部長）のお墓参り報告
- ★春日部アカデミーストリングス演奏会報告
（山形大学工学部学内サークル「アカデミーストリングス」OB による第一回演奏会報告）

支部長：武田正樹

2024 年 11 月 30 日

ご意見・ご要望のある方は
QR コードを読み取り、LINE で送っ
てください。



☆支部長挨拶

11 月下旬に入り温もりが恋しい季節になりましたが、支部会員の皆様いかがお暮しでしょうか。米沢工業会は今年創設 100 周年を迎え、10 月 12 日（土）に 100 周年式典（前段で定時総会開催）があり埼玉支部代表で参加してきました。7 月以降は、首都圏の支部総会（神奈川・東京）、TH 会総会に参加した他に 10 月 25 日（金）には余禄会首都圏有志会（昭和 46 年機械系卒業同級会）を主催しました。こうした中で、支部恒例行事の七夕会・支部総会・秋季ゴルフ大会を滞りなく開催することができました。各イベントに参加された支部会員、幹事（役員）の皆様へ厚く御礼申し上げます。

埼玉支部では、支部活動を理解して頂くために年 2 回（6 月・11 月）ニュースレターを発行しています。母校への恩返しと部会員同士の親睦を深めるために米沢工業会活動に積極的な参加をお願いいたします。

☆米沢工業会創設 100 周年記念講演会・式典・祝賀会参加報告

10 月 12 日（土）米沢市／グランドホクヨウにて午前中の定時総会の後に創設 100 周年記念式典が約 150 名の参加の下、盛大に開催され、埼玉支部代表として参加してきました。式次第は、[米沢工業会創設 100 周年記念講演会・式典・祝賀会](#)を参照願います。記念事業の詳細は、今後発行の会報や会誌に掲載されます。小山清人前学長（修 T 昭 49）及び磨 秀晴様／TOPPAN ホールディングス(株)代表取締役社長（H 昭 54）のご講演、式典に続き、祝賀会が催されました。長き歴史を振り返りながら将来の発展を祈念すると共に親睦を深めました。

☆七夕会開催報告

埼玉支部七夕会

～年代を超えて語り合い盛り上がる～

令和6年7月6日（土）大宮駅近くで恒例の七夕会を開催しました。開催に先立ち、9月に予定の埼玉支部総会の新たな会場見学を行い、会場に移動して年内のイベントの準備のための臨時役員会を経た後の開催となりました。

七夕会は大学構内にあった白楊寮の在寮経験者の集いが発展した会で、我々のこのころの“ふるさと”である米沢を語り合う会として今年で24回目となります。私森村が司会を行い、5月に逝去された前支部長塚越則夫様への黙祷を捧げた後に、武田支部長の挨拶に続き、最年長の乳井幸雄さん（M昭32）の乾杯のご発声により賑やかに始まりました。

今回はゲストをお呼びすることはできませんでしたが、初参加の方を交えて自己紹介を兼ねた思い出話に盛り上がりました。山形大学の卒業生という縁で年代を超えた話ができることはとても貴重な体験でした。

最後はいつもの白楊寮の“飛乱の桜”を参加者で合唱し、閉会しました。

S昭59 森村弘文 記



令和6年7月6日（土） 於：大宮 割烹「じゅらく」

☆支部総会開催報告

埼玉支部総会

～4名の新人加入で役員若返り～

令和6年9月21日（土）、埼玉支部総会を大宮駅近くのカフェラウンジ大宮で開催しました。特別講演では、山形大学大学院の横山道央教授が「IoT・ビッグデータ解析による健康支援管理」について講演。脈拍の低周波数変動とストレスの関係や、企業との共同研究事例が紹介され、参加者の関心を集めました。

続いて、大沼正国理事長からの活動の近況報告があり、学部卒25周年記念対象者表彰も行われました。さらに、令和5年度の報告と6年度の計画、新役員4名の就任が承認されました。

懇親会では、ご来賓挨拶、大先輩である乳井幸雄さんの乾杯挨拶から始まり、立食ビュッフェ形式で参加者が自由に交流。自己紹介や近況報告、山田秀さん指揮による「飛乱の桜」の合唱などを通じて和やかな雰囲気で行われ、会員同士の親睦を深める貴重な機会となりました。

修電情平 12 羽藤栄記 記



令和6年9月21日（土） 於：カフェラウンジ大宮

☆芋煮会開催報告

埼玉支部芋煮会 ～芋煮とお酒を皆で満喫～

令和 6 年 10 月 20 日（日）に第 12 回の恒例行事として 12 名の少人数で開催しました。暑い時期が続きましたが当日の朝は一気に涼しくなり爽やかな秋晴れとなりました。

2 週間前の堀籠幹事との買出し及び当日早朝からの山本元支部長他のご協力による買出しの後に早速調理が始まりました。今回も森村副支部長のランニング仲間の山大農学部と理学部の OB の方が調理に参加されました。芋煮ができるまで待ち切れずに飲み会が始まりました。芋煮が出来上がると羽藤幹事が進行役となり、武田支部長の挨拶、齋藤政敏さんの乾杯の音頭で本番が始まりました。暫しの歓談の後に恒例の参加者全員のスピーチ。芋煮を味わいながら、米沢時代の思い出、近況、趣味、健康のことなど話題は様々ですがお互いをより知り合うことができ会話に弾みがつきました。芋煮の他に炒め物を作りましたが例年以上に食とお酒が進み早めに満腹状態。締めにカレーうどんや麻婆茄子を作る予定でしたが止めることにして余分な食材は持ち帰りました。次回は適量を心がけます。来年も開催しますので初めての方及び他支部の方もお気軽にご参加ください。

C昭 62 西嶋慶文 記



令和 6 年 10 月 20 日（日） 於：サンアメニティ北本キャンプフィールド

☆秋季ゴルフ大会開催報告

埼玉支部第 38 回（秋季）ゴルフ大会

猛暑を避け例年より一ヶ月遅れの令和 6 年 10 月 28 日（月）、鴻巣カントリークラブで開催しました。若手の新参加者もあり、13 名のエントリーがありましたが、直前の体調不良による 2 名のキャンセルがあり 11 名でスタート。直前までの雨も上がり絶好のコンディションに恵まれ、快適なゴルフを楽しむことができました。夏場の運動不足と老体による体力の衰えでラウンドできるか心配されましたが全員元気に無事完走できました。優勝は最年少 69 歳の寺田重人 H53 さん、準優勝は最年長 90 歳になった乳井幸雄 M32 さん、3 位は 87 歳の槇英雄 D37 でした。次回は幹事になった乳井さんの特権で、今回と同じ鴻巣カントリークラブで、来年 4 月末頃に開催することを決めて散会となりました。

幹事 槇英雄（D37）記



令和 6 年 10 月 28 日（月） 於：鴻巣カントリークラブ



『卒寿を迎えてあれこれ』

機械工学科 昭和32年卒 乳井幸雄

配達その他で来る人に年令を聞かれると、皆に若く見えると言われます。ゴルフバックを見て、未だやっているのですかとも。でも悪い気はしません。ニュースレターに何か書いてと言われたので、今の心境などを思いつくまま書く事にしました。

1. 最近読んで面白かった本

「ローズヴェルト、スターリン、チャーチルを暗殺せよ」(河出書房新社)

新聞広告で見たので直ぐに購入しました。全米ベストセラーノンフィクション小説で、第二次世界大戦中に秋田の田舎で先生に連れられて、八幡神社に戦勝祈願した愛国少年だったので、知っている名前が沢山出てきます。日本側をどう見ていたかも書かれているのでそういうことだったのかと。興味ある方は一読してください。

2. 長生の秘訣

M32は卒寿を迎えた年代です。コロナの所為もあってこの数年情報不足。頼りは会誌・会報と年賀ハガキですが、現在も16名が健在と思っています。

健康寿命(歩いて、買い物が出来て、乗り物に乗れる)が過ぎて、平均寿命(81.09歳)も過ぎている訳ですから、100歳まで頑張るとなります。

百寿者の健康の秘訣をテレビでやっていて、概略下記のようなものでした。

(1) 体質の特徴

- ① 認知機能の衰えが遅い
- ② 循環器系の老化が遅い
- ③ 骨格筋の衰えが遅い

(2) 性格の特徴

- ① 新しい事にチャレンジ
- ② 決められた事を守る
- ③ 人との関わりを好む

毎日の生活がこの方向に向かっているならば、たぶん近く迄行くでしょう。

自分が16名の中に入っている理由は何か、勝手な思いで書くと次になります。

- 1) 二階が居間なので築23年の15階段を毎日上がり下り10回超え。
- 2) 定年後ゴルフのRound回数は1000を超えた。
- 3) 今迄独り住まいが無い事。

3. 生活信条

50才頃から守っている生活信条があります。

- ① 会社時代／「決断と実行」～仲間の誰かが話すのを聞いて凄く気に入った。
- ② 定年後高校専攻科の非常勤時代／「何事も一生懸命やれ」
- ③ 現在／「焦るな・騒ぐな・ゆっくり・考えて」

物忘れしたり、チョンボしたり、認知症の入口かと思う事が度々ある。

3番目は現在の必須事項にピッタリです。

4. 愛読誌

話題が豊富だと会話も弾む。世の中の出来事にも関心がある。毎号購入して読んでいる本は次の通りです。

① 週刊新潮／週 片山杜秀、桜井よしこ、高山正之各氏の記事を読みたくて

② 文芸春秋／月 地図を持たない旅人（11月号第7回目） 大栗博司
7回目まで読んでこんなに博識な、文才のある、凄い人も居ると読む都度感動が深まっている。

③ Newsweek（日本版）／週

（産経新聞日曜版）に乗っている。“月刊” Hanada
編集長 “の週刊誌ウォッチングで、記事を酷評した事は一度もないと思う。

どんな場所でも、好きな時間に、読みたい所を拾い読み出来るので自分に合っている。それにしても、毎回原稿に追われる生活は、策が無ければ寿命が縮むと思います。

5. 気になる病気

聞き慣れた病名「エコノミークラス症候群」の正式名は肺血栓塞栓症という
そうで、高齢者は、この病気がどんなものか知っておく必要があると思います。

脚の静脈に血栓が出来て、体を動かしたはずみに血の塊が剥がれ、心臓と肺をつなぐ肺動脈を詰めてしまう。肥満体の人に出来やすい。症状は強い胸痛・血痰・呼吸困難などで、突然に呼吸困難状態になり突然死に至る。重症の場合は人工心肺装置に繋いで、緊急手術で血栓を取る。

最近コロナに感染し、緊急入院したのに食事中に発生したために手遅れ死亡の例があります。令和5年末に亡くなった有名人の中村メイ子さんはこの病気でした。

更に、令和6年1月能登地震婆さんがこの病気で死亡と新聞記事に出て珍しくないと思いました。知っている3例共に女性の点が気になります。

6. 自転車事故に注意

最後は高齢者の転倒事故、特に自転車事故です。年を取るにつれてのフラ～運転は自分もその傾向有りです。前方の叔母さんが車道に倒れて来てとっさに逃げた経験もあります。特に高齢のため自動車免許を返上し、自転車に切り替えた人は要注意だと思います。確率で考えても自分は自動車安全派です。

ここ数年、埼玉支部内では転倒事故がきっかけで亡くなられたり、体調不良と聞いた件数は8件を数えます。令和7年8月免許更新なので、取得を目指して頑張ろうと思っています。何故なら15分で歩けた駅までが近頃苦痛に感じているから一つの理由です。

以上

☆故塚越則夫氏（前支部長）のお墓参り報告



11月12日（火）に八巻功氏（元支部長、塚越氏自宅近くに在住／A昭44）、熊谷吉郎氏（会社の先輩／C短昭38）、大西悟氏（同期／C昭46）、武田正樹（支部長・同期／M昭46）の4名で故塚越則夫氏（前埼玉支部長）のお墓参りに行きました。お墓は、「さいたま市思い出の里市営霊園」（さいたま市見沼区大谷600番地）にあります。霊園は、塚越氏自宅（東武野田線大和田駅近く）の南に位置し、緑豊かな広大な丘陵地帯に位置します。

塚越さんは、令和6年5月13日に永眠されました。約1年前に亡くなられた奥様と奥様のご両親と共に眠られていました。支部関係者は塚越さんの葬儀に参列していなく、その後もご家族と連絡が取れない状態が続いていました。先に墓参された同期の方からの情報が、大西さん経由で入り、今回の墓参りとなりました。清掃・献花・献酒・焼香の後、埼玉支部の運営は順調に行っている旨報告し、帰途につきました。

霊園は広大で墓数も多く、名前だけで探し当てるのは大変です。墓参り希望される方には墓地区画番号をお知らせしますので武田（携帯／090-3759-7235）まで問い合わせ願います。

M昭46 武田正樹 記



11月12日（火）於：思い出の里市営霊園（八巻功さん撮影）

☆春日部アカデミーストリングス演奏会報告

(山形大学工学部学内サークル「アカデミーストリングス」OB
による第一回演奏会報告)

春日部市は、音楽の街で演奏会が盛んに開催されます。春日部アカデミーストリングス演奏会の[チラシ](#)を入手したので 9 月 28 日会場の春日部高校センティニアルホールへ出かけました。市内のオーケストラの弦楽器奏者の有志で構成する楽団と思い込んでいたので会場で初めてチラシを見てビックリ。演奏者は、山形大学工学部学内サークル「アカデミーストリングス」OB で結成した弦楽アンサンブルでした。チラシでは、「演奏活動から遠ざかっていたメンバーもいて、しかも在住地も分散しているために合奏練習が満足にできていなく、一発勝負の演奏会」と謳っていましたが、演奏が進むにつれて昔を思い出したように音が合ってきて、ラストはやり切ったという満足感が顔に出ている様子に感じました。

演奏終了後にリーダーの高月広紹（C 昭 59／集合写真後列の左から 5 番目／チェロ）さんへ聞いたところ、ご本人は春日部市在住で他に埼玉県内在住者はいなく、第二回演奏会は未定とのこと。後日判明したことですが高月さんは東京支部所属です。第二回の情報を事前に入手したときは、高月さんの了解を得て埼玉支部会員と近隣支部へ演奏会情報を広報したいと思っています。

M昭 46 武田正樹 記



9 月 28 日（土） 於：春日部高校センティニアルホール

以上

米沢工業会創設 100 周年記念講演会・式典・祝賀会

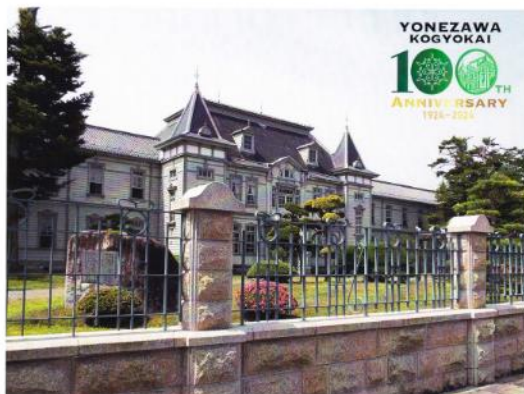


一般社団法人 米沢工業会

創設100周年記念

講演会 式典 祝賀会

令和 6 年 10 月 12 日(土)
グランドホクヨウ 1 階プライトン



記念講演会

13:00~15:00
プライトンサウス

1. 開会の挨拶
2. 講演

演題 「偶然に支配された私の半生
～山形大学での56年間をふり返って～」

講師 国立大学法人山形大学 前学長 〈本会名誉会員〉
小 山 清 人 様 (修1昭49)

【略 歴】

1949年 和歌山県西牟婁郡ささみ町生まれ
1974年 3月 山形大学大学院修士課程修了
1974年 4月 山形大学工学部 助手
1987年 4月 同 助教授
1992年 4月 同 教授
2004年 4月 同 学部長
2007年 9月 山形大学 理事・副学長
2014年 4月 同 学長
2020年 同 名誉教授

演題 「次の100年に向けた
TOPPANグループの企業経営
～変化を起こす、変化に挑む～」

講師 TOPPANホールディングス株式会社 代表取締役社長 CEO
唐 秀 晴 様 (昭54)

【略 歴】

1966年 宮城県大崎市(旧松山町)生まれ
1979年 3月 山形大学工学部高分子化学科 卒業
1979年 4月 凸版印刷株式会社 入社
入社後、山形営業所で営業経験ののち、技術開発、
工場長、関西事業本部副事業本部長、国際事業部長、
経営企画本部長など歴任
2019年 6月 代表取締役社長 就任
2023年10月 TOPPANホールディングス株式会社
代表取締役社長 CEO 就任

3. 閉 会

記念式典

15:15~15:45
プライトンサウス

1. 開式の辞
2. 理事長式辞
3. 来賓紹介
4. 来賓祝辞
5. 祝電披露
6. 閉式の辞

山形大学学長 玉 手 英 利 様
山形県知事 吉 村 美栄子 様
米 沢 市 長 近 藤 洋 介 様

記念祝賀会

16:00~18:00
プライトンノース

1. 開会の挨拶
2. 来賓紹介
3. 来賓祝辞

前衆議院議員 鈴 木 憲 和 様
農林水産副大臣
参議院議員 舟 山 康 江 様
参議院議員 芳 賀 道 也 様
工 学 部 長 黒 田 充 紀 様

4. 感謝状贈呈
5. 卒業50年記念品贈呈
6. 卒業50年代表者謝辞
7. 乾 杯

山形大学 理事・副学長 飯 塚 博 様

8. アトラクション

◎花笠おどり演舞披露
山形大学花笠サークル四面楚歌

◎吹奏楽演奏

・米沢高等工業学校 校歌
・白楊寮寮歌 飛乱の桜
・坂本九コレクション、他
山形大学工学部・米沢女子短期大学・米沢栄養大学吹奏楽団

9. 中 締 め
10. 閉 会

創設100周年記念祝賀会 御席



米沢高等工業学校校歌

土 井 晩 翠 作詞
松 平 信 博 作曲

- 一、誉の名君 治めし績
余韻は絶えせじ とこしえ遠く
勤儉習いとなりたるこの地
新たな時世に 新たな光
添え得つ 高等工業校舎
- 二、明治の聖代 四十と三を
数えしその年 基を築きて
育み来りし 子弟の栄
今はた百歳 斯界の上に
教えを布きゆく 富国の道に
- 三、吾輩は聳えて 高きをさとし
松川流れて 速きを示す
その山その水 仰ぎて俯して
朝夕無言の 教えにひたり
希望のあふる 数百年の歴史
- 四、金剛堅かれ 心の誠
身をたて名を揚げ 東亜の空に
光と照るべく 進みて励め
青春勇みの わが世の門出
誓はれは伝えん 無窮の末に

白 楊 寮 寮 歌

寺 岡 萬 作詞
渡 邊 欽之助 作曲

- 一、飛乱の桜 往く雲に
想いを馳せて 春の宵
翳業の夢を 巻びつつ
白楊寮の 灯は点る
- 二、緑のボプラ 陽に映えて
山脈紅く 燃ゆる頃
置賜の野は 貴待れて
是々秋風の 露情あり
- 三、吾輩を風す 青嵐の
実には清爽の 息吹きぞや
都府騒然の 音を払う
永劫の香を 慕うなり

(繰り返す)

春日部アカデミースtrings演奏会

レスピーギ作曲「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲

オットリーノ・レスピーギ (1879-1936) はイタリアボローニャ出身の作曲家、音楽学者、指揮者で、ヴァイオリン奏者、ヴィオラ奏者としても活躍しました。作曲家としては「ローマ三部作」と呼ばれる一連の交響詩「ローマの噴水」「ローマの松」「ローマの祭り」が広く知られています。また、16世紀から18世紀の音楽に対する関心から、古楽に基づく作品も遺しました。その代表作が「リュートのための古風な舞曲とアリア」の3つの組曲です。いずれも古いリュートのための曲を、現代のオーケストラないし弦楽合奏のために編曲したものであり、タイトルにある「リュートのための」の曲ではありません。本日演奏する第3組曲は弦楽合奏曲で4つの曲からなります。中でも3曲目の Siciliana シチリアーナは、色々なバージョンで再編曲され、映画やCMによく使用されていますので、皆さんもどこかで一度は耳にされていると思います。(演奏時間: 20分)

- I. Italiana:
イタリアーナ 作曲者不詳 16世紀頃
- II. Arie di corte:
宮廷のアリア 作曲者ジャン・ベザール (1567-1617)
- III. Siciliana:
シチリアーナ 作曲者不詳 16世紀頃
- IV. Passacaglia:
パッサカリャ 作曲者ルドヴィコ・ロンカッリ (1654-1713)

出演者 (五十音順)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1stヴァイオリン | チェロ |
| 澤田可如 柴田泰彦 | 高月広紹 羽賀則夫 深瀬俊太郎 |
| 2ndヴァイオリン | コントラバス |
| 板倉哲 深瀬幸太郎 水口秀秋 | 新井田哲史 |
| ヴィオラ | |
| 深瀬幸一 舟橋典明 | |

Academy Strings

春日部アカデミースtrings 第一回演奏会

春日部高校センティニアルホール

2024年9月28日【土】13時30分開演



後援: 春日部市教育委員会 春日部市芸術文化振興会

ご挨拶

本日は、春日部アカデミースtrings第一回演奏会にお越し頂き、誠にありがとうございます。私共は山形大学工学部の学内サークル「アカデミースtrings」のOBで結成した弦楽アンサンブルです。本日の出演者が同サークルに在籍していたのは40年前のことになりますので、当時は全員が20代でした。40年の年月を経て本日、その有志が集い第一回演奏会を迎えることが出来たのは望外の喜びです。卒業後は皆、異なる人生を歩んで参りました。演奏活動から遠ざかっていたメンバーもおります。加えて本日の出演者は、東京、千葉はもとより静岡、新潟、仙台、福島、山形から参加しておりますので、合奏練習が満足に出来ておりません。一発勝負の、いわば同窓会的演奏会ですが最後までお付き合い頂けたらありがたく存じます。尚、本日の演奏会にOBのご子息に賛助出演頂いております。紙面を借りてお礼申し上げます。1984年卒 春日部市在住 高月広紹

プログラム

パーセル作曲「アプデラザール」組曲

- I. Overture II. Rondeau III. Air IV. Air V. Minuet
VI. Air VII. Jig VIII. Hornpipe IX. Air

ヴィヴァルディ作曲「調和の靈感」より第6番

- I. Allegro II. Largo III. Presto

休憩

モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

- I. Allegro II. Romanze Andante
III. Menuetto Allegretto IV. Rondo Allegro

レスピーギ作曲「リュートのための古風な舞曲とアリア」第3組曲

- I. Italiana II. Arie di Corte
III. Siciliana IV. Passacaglia

解説

パーセル作曲「アプデラザール」組曲

ヘンリー・パーセル (1659-1696) はバロック時代のモーツァルトとも言われるイギリスの作曲家です。この組曲は、イスラム教徒とスペイン国王との戦いを描いた劇「アプデラザール」の付随音楽で「序曲: Overture」から「アリア: Air」までの9曲で構成されています。この組曲の2曲目「ロンデ: Rondeau」は、イギリスの作曲家ベンジャミン・ブリテン (1913-1976) が自作「青少年のための管弦楽入門」にその主題を使用したため、非常に有名になりました。他の曲も親しみやすく品格のあるメロディーが多いため、弦楽アンサンブルで親しまれています。イギリスの舞曲である8曲目の「ホーンパイプ: Hornpipe」も人気があり、単独で演奏されることがあります。(演奏時間: 18分)

ヴィヴァルディ作曲「調和の靈感」より第6番

アントニオ・ヴィヴァルディ (1678-1741) はヴェネツィア出身のバロック音楽後期の作曲家ですが、同時にヴァイオリニスト、ピエタ音楽院の音楽教師、カトリック教会の司祭、興行師、劇場支配人でもありました。多数の協奏曲、室内楽、オペラ、宗教音楽等を作曲しましたが、現代ではヴァイオリン協奏曲「四季」の作曲家として広く知られています。「調和の靈感」は1711年に出版されたヴィヴァルディ最初の協奏曲集で、全12曲からなります。本日演奏致します第6番ヴァイオリン協奏曲イ短調は3楽章よりなりますが、特に第1楽章は主要なヴァイオリン教則本に載っており、ヴァイオリンを学ぶ上で重要な曲目となっています。(演奏時間: 10分)

モーツァルト作曲「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト (1756-1791) が1787年に作曲したセレナードで、この愛らしい小品は誰もが聴いたことがあるでしょう。題名はドイツ語で「ひとつの、小さな、夜の音楽」という意味で、モーツァルト自身が楽譜に書き付けました。この曲は、父、レオポルトが亡くなった2か月後に作曲されましたが、この時、傷心モーツァルトは大作オペラ「ドン・ジョヴァンニ」を作曲をしている最中で31歳でした。その様な大変な時期にもかかわらず作曲されたこの曲は、誰の依頼によるものか不明で、初演の記録も残されておらず、楽譜の出版も作曲者没後30数年経ってからのことでした。暫くの閑居もれた作品でしたが、今ではモーツァルトの代表作になりました。モーツァルト自身も、この曲を大変気に入っていたことを手紙の中に記しています。(演奏時間: 16分)